

住みよさ実感

瀬戸内交流文化都市 たけはら



みんなが一緒にやってくれるから大変じゃない

「みんなが一緒にやってくれるから大変じゃない。」
 そう話すのは、大井ボランティアいこいの新川正数さん。

70歳前後の会員が構成する大井ボランティアいこいでは、11年前から地域でリサイクルできるアルミ缶を集めてお金に替え、市内福祉施設に車いすを寄附しています。

活動を始めたきっかけは、会員が新聞で同様の活動をしていた団体の記事を目にしたこと。

「これなら自分たちにもできる地域貢献」という思いで、会に声をかけたところ、みんなが快く賛同して始まったそうです。

地域のごみステーションに設置した専用の回収箱にアルミ缶を入れてもらい、集まったところで、大井ボランティアいこいの会員が毎回約20人で缶を回収して潰し、



業者に持っていくという活動を11年間継続しています。

活動中は、黙々と作業をして、ひと段落ついたら甘いお菓子と缶コーヒーで一息。

「みんなで集まって活動するのも楽しみの一つ。」

と新川さんは話します。

また、会長の隣井幸子さんは、「分別していかないものもあって、作業が思うように進まない時もありますが、協力して頑張っています。」と話します。

3月に回収したアルミ缶は、みんなで相談して、東北地方太平洋沖地震の義援金にすることに決めました。

ボランティアの力が、地域を支えています。

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,222人
男	13,802人
女	15,420人
	12,903世帯
1年前	29,646人
5年前	31,107人

— 3月1日現在 —

ティータイム

春は出会いと別れの季節と言われますが、涙を流したかと思えば、すぐに新たな出会いが。今年度はみなさんにとって、よい出会いがありますように。

(ま)

市政発展のためのご意見などを寄せください
 郵便 〒725-8666 (住所不妻 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係) FAX 22-0998
 ※電子メールでも受け付けています。市ホームページ「市長の部屋」から送れます。いただいたご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。

たけはら竹まつり

ゴールデンウィークは家族そろって竹まつり!

日時

5月3日(火)・4日(水)
10時～16時

場所

町並み保存地区一帯

内容

がん封じの笹酒の振舞い
 かぐや姫行列
 竹細工教室と即売会
 たけのこ料理ほか地元物産販売
 たけのこ狩り(小吹地区)ほか

問い合わせ

たけはら竹まつり実行委員会

事務局(竹原市観光協会内)

☎ 22-4331

竹原はお酒が有名です。
 そんなお酒がふるまわれる竹まつり。
 かぐやパンダもお手伝い。
 いつもよりほんが赤いのは気のせい?

かぐやパンダと竹原のお酒

